



# 大網ロータリークラブ

## Club Weekly Bulletin

- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター  
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251  
大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2階  
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会長：大越 将司 幹事：星野 実
- 広報・公共イメージ向上委員会  
委員長 小倉 光夫・会報担当 石田 英世

2024年 5月 29日(水)

第25巻 第40号

通巻第1070

<http://www.oamirotary.com>  
E-mail: [rc@oamirotary.com](mailto:rc@oamirotary.com)



世界に希望を生み出そう

### 本日の例会

点 鐘 会長 大越 将司  
ソング 我等の生業  
会長挨拶 会長 大越 将司  
幹事報告 幹事 星野 実  
プログラム

1. 奨学金授与式 ハオ シャンシャン様  
「自己紹介」
2. 卓話 大越会長ご紹介  
社会福祉法人ありんこ会  
理事長 中嶋 悦子 様  
業務執行理事 松本 清資 様  
「子育てしやすい街づくりが地域経済を  
活性化する」

### ニコニコBOX

大越 将司会長  
子ども食堂へのご支援、ありがとうございます。  
11月から、石田エレクトよろしくお願  
い申し上げます。

例会日	5月15日	5月1日
会員数	31	31
出席	20	19
欠席	11	12
M U	0	0
免除	6	8
出席率	84%	87%

### 会長挨拶

大越 将司 会長



みなさん、こんにちは。  
雨の日もありますが、爽やかで過ごしやすい季節となりました。  
ゴルフや行楽、ウォーキングなど体を動かす機会も多くなると思います。  
水分補給には気を付けて、健康的にお過ごしください。

先日 日曜日に今年度初の子ども食堂が、無事開催しました。  
あいにくの天候だったことと、周知期間が短かったこともあって、いつもより来客が少なく残念でした。  
それでも、約20世帯、子供23・大人30、合計53食配布できました。  
始めて利用される若い親子連れもおられ、このような方々にもっと知っていただきたいと感じました。  
また、今回もちあきのいちご園様が協賛してくれ、当日いちご狩りの無料招待券を配布することができました。  
当クラブや会員の皆さんはもちろん、大網白里市やパルシステム等様々な関係機関が協力してくれるようになりました、大変うれしい限りです。

2018年に市内初の子ども食堂として始まった事業も、早いもので7年目を迎えます。  
昨日「ロータリーの友」アーカイブで調べたところ、初めて「ロータリーの友」に「子ども食堂」の文字が登場したのは2017年6月号でした。  
そう考えると当クラブは、国内のロータリークラブの中でも、かなり早い段階から、子ども食堂支援を開始したといえると思います。

近年ロータリークラブでは、奉仕活動において「インパクト」という言葉を良く用いています。例えば「より大きなインパクトをもたらす」といった具合です。「地域社会に持続可能な変化をもたらす奉仕活動」ということのようにですが、分かりやすく言い換えるなら、「ロータリー発の奉仕活動を、ロータリーだけで終わらせるのではなく、よりたくさんの人たちを事業に巻き込むこと」といったことでしょうか。  
その意味において、我々の子ども食堂は、十分に「インパクト」ある奉仕活動だと言えると思います。  
あとは「ちあきのいちご園」さんのような協力者が会員になってくれれば幸いです。

最後に、いつも変わらぬクラブ皆様のご理解ご協力に感謝申し上げ、私の会長挨拶といたします。

卓話

(株)海老澤工業 代表取締役 海老澤光雄様

1. 台湾東部沖地震支援金について  
(4月3日午前7時58分(日本時間午前8時58分)台湾東部沖マグニチュード7.4)

会員善意寄付 57,000円  
クラブ予算より 13,000円  
計 70,000円

茂原中央ロータリークラブを通じて寄付をさせて頂きました。皆様のご支援ご協力を感謝申し上げます。

2. 寒郡ガバナーエレクトにご出演頂く  
千葉コミュニティTVのお知らせ  
◇企画名称：第112回千葉コミュニティTV(テレビ)  
※MC 國吉によるインタビュー形式対談番組  
◇ゲスト：国際ロータリー第2790地区2024-25年度ガバナー 寒郡茂樹様  
◇テーマ：『ロータリー活動について』  
2790地区の活動についてお伺いするとともに、寒郡ガバナーエレクトの素顔に迫ります。  
◇生放送日時：2024年5月22日(水)17時~18時

YouTube…翌日(5月23日)以降、下記のYouTube【 】からアーカイブ(録画)でいつでもご覧いただけます。  
【千葉コミュニティTV寒郡茂樹】で検索願います。  
※YouTubeでもコメントを残していただけです。  
◇お問合せ：國吉様携帯 090-8048-8876  
Eメール [k.kuniyoshi@kb-cs.co.jp](mailto:k.kuniyoshi@kb-cs.co.jp)

3. 2024-25年度青少年交換委員会  
委員長：三上直哉様より

ロータリー青少年交換派遣学生募集

ロータリー青少年交換は15歳から19歳までのプログラムで、毎年約9000名の高校生が世界中を飛び回っております。1年間の準備期間を経て高校生が親善大使となり様々な国へ派遣され、人と人との交流を第一の目的としている事業です。ロータリー青少年交換プログラムに参加すると、否が応でも異国の文化を体験できます。それによって、日本の素晴らしさ母国の良いところを再発見できます。そして世界中から集まる同世代の仲間と、国境を越えた友情を育むことができます。学生、保護者が必ずや成長し、そしてクラブが必ずや活性化すると委員会メンバー一同確信しております。

(本プログラムは会員のお子様・お孫様も参加できるプログラムです)世界平和へ向けて少しでも歩みを進めるため、多くの学生が世界を駆け巡ることを心より願い、ご案内とさせていただきます。多くのご応募お待ちしております。



本日、卓話を致します海老澤と申します。  
私は、昭和57年に入社して直ぐに先代社長の病气により19歳より専務に就任26歳より代表取締役を就任してから42年に亘り、軌道工事に携わって参りました。

私の会社に対しての経営理念は、工事の発注者様とパートナー会社様に信頼と信用をして頂ける様に決められたルールを遵守して事故を発生させない事が重要だと考えております。列車は1年365日大勢のお客様を列車に乗車して頂き目的地まで安全、安定輸送で行ける様に当社として一般軌道、スラブ軌道、東海道新幹線、東北新幹線の保守工事や緊急事態にも対応できる様に会社を構築しております。

主な工事経歴は、常磐線天王台駅構内改良、京葉線の新線工事、永田~本納間線増化、土気駅構内改良、40N~50Nレール在来線重軌条化、東浪見~太東間線増化、在来線分岐器重軌条化、常磐線60キロレール化、地下鉄東京メトロ、私鉄鉄道など多種多様な工事に携わって参りました。現在は外房線、東金線、総武本線、成田線、内房線、線路近接土木工事などの保守メンテナンスをJR様のパートナー会社様より工事を受注させて頂いております。

これからも皆様のご近所でお仕事をさせて頂く事もあるかと思ひます。騒音など多々ご迷惑をおかけするかもしれませんが、私共としても皆様にご迷惑をおかけしないよう従業員に指導しております。ご理解頂ければと思ひます。皆様ご清聴ありがとうございました。



ご投稿

齋藤 幸男 会員

仏教用語の解説 「億劫」

「億劫になる」という言葉は、今でも日常的に使われる。「面倒くさい」という意味であるこの億劫という言葉は、れっきとした仏教語なのである。

億は文字通り、一億十億などの数の単位、劫は億のはるか上の位の数の単位である。そして、億劫とはとてつもなく長い時間をあらわす。つまり一劫の一億倍が億劫である。「寿限無(じゅげむ)」という落語の中に「ごこうのすりきれ」という言葉が出てくる。「ごこう」は「五劫」と書き、この五劫の劫が億劫の劫なのである。

時間の単位といっても一時間とか一年とかいう具体的なものではない。一劫の長さについて経典には次のように述べられている。

一四、五キロメートル四方の鉄の入れ物を二つ用意し、片方にケシの実を満たす。そして、一年に一粒ずつ、いっぽうの空の入れ物に移す。すべてを移し終わるまでの時間が一劫だという。

あるいは、やはり一四、五キロメートル四方の大岩に、天女が百年に一度、降りてきて、羽衣で表面を優しく撫でる。そして、大岩が擦り減ってなくなるまでの時間が一劫だという。

また、仏教では世界が成立してから破壊するまでの期間を「四劫(しこう)」という言葉であらわす。世界が成立し、地獄から神々の住む天界までができる期間を「住劫(じゅうこう)、世界が破壊するまでの期間を「壊劫(えこう)」そして世界が空虚になるまでの期間を「空劫(くうこう)」という。

近年の科学では、地球ができてから四十数億年といわれ、地球の寿命はあと四十億年ともいわれている。これによれば四劫は約八十億年だから、一劫は約二十億年ということになる。

いずれにしても一劫は創造を絶する長い時間で、億劫はその億倍だということだから、もう考えるのも嫌になってしまう。そこからヤル気がなくなる、考えるのも面倒くさくて嫌になるということ「億劫」というようになったのである。

(日本石材工業新聞より)

2024-25年度 テーマ 「ロータリーのマジック」



ステファニー・アーチック RI 会長エレクトは、ロータリーのマジックを強調します。ロータリー会員はプロジェクトを完了するたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、マジック(魔法)を生み出しているとアーチック会長エレクトは述べます。